

情報活用能力観点別一覧 深川市教育委員会 令和3年12月21日現在

3観点	8要素	大項目	中項目	低学年		中学年		高学年		中学
				小1	小2	小3	小4	小5	小6	
情報活用の実践力	課題や目的に応じた情報手段の適切な活用	chromebookの基本操作	ソフトウェア利用のための共通操作	chromebookの起動・終了をすることができる。ファイルを開いたり、保存することができる。		適切なファイル名をつけて、保存することができる。		ファイルをフォルダに整理、検索することができる。		目的に応じてソフトウェアを利用することができる。
			トラックパッドやキーボードの操作知識	手書き入力で、文字入力することができる。トラックパッドで操作することができる。		ローマ字入力による簡単な文字入力をする	漢字かな交じりの文章を入力することができる。	漢字かな交じりの文章を入力することができる。		漢字かな交じりの文章や英語、数式などの入力ができる。
			キーボード入力（ローマ字入力）	ログインすることができる。※市の研究課題 情報活用能力をより高めるために、小3以前にホームポジションを覚え、タイピングソフト等でキーボードに徐々に親しむ。		1分間に8字程度 10分間に80字程度	1分間に13字程度 10分間に130字程度	1分間に16字程度 10分間に160字程度	1分間に20字程度 10分間に200字程度 (ワープロ検定4級程度)	1分間に30字程度 10分間に300字程度（正確に入力して編集する） (ワープロ検定3級程度)
		知識・モラル	著作権・肖像権等	人の写真を撮る時は、許可が必要なことを知っている。		自分の文章の中に、引用した文章を使う場合は、「」でくくることを知っている。		自分の文章の中に、引用した文章を使う場合は、「」でくくることを知っている。		引用した文献、著作物、サイトなど出典を明記することを知っている。
			Webページ	Webページには、よくないページがあることを知っている。		人をだまそうとするページや、よくないページを見つけたときは、大人に相談することができる。		悪意がある情報や、不適切、不正なサイトを見つけたときは、見ないようにし、大人に相談することができる。		情報の信頼性を吟味し、安全な取り扱いに関しての正しい知識を持って判断することができる。
		必要な情報の主体的な収集・読み取り・判断・表現・処理・創造	情報の収集	図書や資料の活用	教科書や図鑑を利用して、情報を収集することができる。		目的に合わせて本を選び、情報を収集することができる。		新聞や資料集などを利用して、情報を収集することができる。	
	カメラ機能の活用			カメラ機能で写真や動画を撮影（削除）することができる。		目的に合わせて、写真を撮影することができる。		伝えたい内容に合わせて構図やアングルを工夫して、写真を撮影することができる。		伝えたい内容に合わせて写真と動画を選択して、撮影することができる。
	インタビューとアンケート			身近な人から情報を収集することができる。		目的に合った具体的な質問を考え、情報を収集することができる。		目的に応じた質問形式や、相手の話に応じて内容を考え、情報を収集することができる。		具体的に詳細な情報を得ることを意識しながら、情報を収集することができる。
	Web検索			指導者が用意したWebページから、情報を探することができる。		キーワードで文字を入力して、検索することができる。		複数のキーワードを組み合わせて、検索することができる。		AND・OR・NOT検索を組み合わせて、効率的に検索することができる。
	情報の読み取り		ひとつの資料から視点を持って情報を読み取ることができる。		ひとつの資料から様々な視点を持って情報を読み取ることができる。		複数の資料から様々な視点を持って情報を読み取ることができる。		複数の資料から矛盾点や欠けている情報を見つけることができる。	
	情報の整理・分析・判断		収集した情報をみんなで比べたり、まとめたりすることができる。		収集した情報を整理して、目的に合うものを取り出すことができる。		収集した情報を表やグラフ等に整理し、分析・判断することができる。		収集した情報を多様な方法で整理・分析・判断することができる。	
	情報の表現・処理・創造	情報から分かったことをまとめることができる。		文書や図の情報を基にして、分かりやすい発表資料（表やグラフ）を作成することができる。		情報を組み合わせて新たな意味を見いだすことができる。		ソフトウェアを利用して、表やグラフ、画像の入った文章を作成することができる。		
	受け手の状況などを踏まえた発信・伝達	考えの表現と発信	文字・写真・動画等のメディアを使って、自分の考えを伝えることができる。		文字・写真・動画等のメディアに応じて表現を工夫することができる。		伝えたいことに応じて、表現を工夫することができる。		目的に合わせて効果的な表現・手段を選び、表現・発信することができる。	
	情報の科学的な理解	chromebookの特性や仕組み	chromebookの基本構成	chromebookの各部の名称がおおよそ分かる。		chromebookの各部の名称が分かる。		ソフトウェアの各名称と役割が分かる。		基本ソフトウェア（OS）や応用ソフトウェアの機能が分かる。
周辺機器			カメラ等に親しむことができる。		chromebookに接続できる周辺機器の種類が分かる。		周辺機器や記録メディアの機能が分かる。		周辺機器の機能や特徴、活用の仕方が分かる。	
メディアの特性や仕組み		情報のデジタル表現と特徴			デジタル化した情報が身の回りにあることが分かる。		デジタル化した情報の特徴が分かる。		デジタル化した情報を統合する方法が分かる。	
		伝達メディアの特性や仕組み			身の回りには様々なメディアがあることが分かる。		身の回りのメディアの特徴や活用場面が分かる。		様々なメディアの長所や短所と、目的に合った活用の仕方が分かる。	
情報通信ネットワークの特性や仕組み		chromebookは、ネットワークに接続されて活用されていることが分かる。		chromebookは、ネットワークに接続されて活用されていることが分かる。		インターネットについて、おおよその仕組みが分かる。		インターネットについて、おおよその仕組みが分かる。		
計測・制御の仕組み		プログラミング	体験を通して、コンピュータは人が作成したプログラミングによって動いていることが分かる。		体験を通して、命令の組み合わせによってコンピュータの動作が変わることが分かる。		体験を通して、課題を解決するために手順を見通したり分解して、どのような組み合わせが必要かが分かる。		活動を通して、生活や社会で利用されている基礎的な情報の技術がわかる。	
		データベース	付箋紙を用いて情報を整理する方法が分かる。		表やカードを用いて情報を整理する方法が分かる。		目的にあわせて、情報を構造化するのに適した方法が分かる。		ソフトウェア等によるデータの整理の仕方が分かる。	
		モデル化とシミュレーション			情報を基に図やグラフを作成する方法や、活用の仕方が分かる。		情報を基に図やグラフを作成する方法や、活用の仕方が分かる。		情報を基に変化の様子を予測して、問題解決に役立てることができる。	
情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法の理解		情報活用の評価・改善	自らの発表の仕方を振り返ることができる。		自らの情報収集や表現の仕方を振り返ることができる。		自らの情報活用の仕方を振り返り、改善の方法を考えることができる。		自らの情報活用の仕方について、成果や過程を基に、改善の方法を考えることができる。	
情報社会に参画する態度		社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響の理解	情報発信による他人や社会への影響		相手によって情報の受け止め方が違うことを理解する。		相手の感じ方を考えて、適切な表現で情報を発信することができる。		相手の状況や感じ方を考えて、責任をもって情報を発信することができる。	
	情報の正しい判断と自他の健康		安全の知恵	大人と一緒にchromebookを使い、安全を意識することができる。		情報には古いものや誤ったものもあることが分かる。		意図的に変更された情報があることが分かる。		情報を吟味して、適切な判断をすることができる。
			健康と情報	決められた利用時間を守って、情報機器を利用することができる。		決められた利用時間を守って、情報機器を利用することができる。		健康面に配慮した情報機器との関わり方を考えて、行動することができる。		自他の健康面に配慮した情報機器との関わり方を考えて、行動することができる。
	情報モラルの必要性や情報に対する責任	情報セキュリティ	不必要に個人情報を教えてはいけないことが分かる。		個人情報保護の大切さを知り、IDやパスワードの重要性が分かる。		情報セキュリティの重要性を知り、ウイルス対策やフィルタリングの必要性が分かる。		SNS等での情報の送受信に伴い発生する問題について適切に行動することができる。	
		法の理解と遵守	約束や決まりを守るすることができる。		情報をやり取りする場合のルールやマナーを知り、守ることができる。		契約行為の意味を知り、規約を確認して適切に行動することができる。		情報の保護や契約に関する法律を知り、適切に行動することができる。	
望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度	情報に関する自他の権利の尊重	人の作ったものを大切にすることができる。		著作権について知り、個人の権利に配慮することができる。		肖像権について知り、個人の権利やプライバシーに配慮することができる。		人格権や肖像権など個人の権利を尊重することができる。		
望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度	公共的なネットワーク社会の構築	公共のものを大切にすることができる。		ネットワークのよさを知り、協力し合って使うことができる。		ネットワークが共用のものであることを理解して、適切に行動することができる。※SNS教育		ネットワークの公共性を理解し、意識して適切に行動することができる。※SNS教育		